



Beyond KUSS, 2022 !!



大学入学共通テスト模試6月(マーク)模試(再掲)

1 日程

5月27日(木) LHR時 受験カード記入(進路希望調査を兼ねます)

☆ 第1志望(最も学びたい大学・学部・学科)を調査します。

5月28日(金) 放課後にHR教室で実施

15:20-16:40 英語(リーディング) 80分, 100点

16:45-17:15 英語(リスニング) 30分, 100点

5月29日(土) 神戸大学深江キャンパス4号館3階で実施 **集合時間 8時20分**

(<https://www.ocean.kobe-u.ac.jp/access/>)

☆ 自宅から深江キャンパスまでの移動方法は、必ず事前に確認しておくこと

08:35-09:45 数学① 70分, 100点 数学I・Aを解答

09:55-10:55 数学② 60分, 100点 数学II・Bを解答

11:05-12:25 国語 80分, 200点 漢文を解答

12:25-13:15 昼食〈13:10には着席完了のこと〉

13:15-14:15 人文・社会科学類型 理科基礎科目から2科目 60分, 100点

自然・生命科学類型 地歴公民から1科目 60分, 100点

14:25-16:25 人文・社会科学類型 地歴公民から2科目 120分, 200点

自然・生命科学類型 理科4科目から2科目 120分, 200点

2 諸連絡 学習の達成度確認のため、900点満点が算出可能な教科・科目を受験

(1) 共通テストを意識し、鉛筆(HB,F,H), プラスティック製消しゴム, 鉛筆削りを準備

☆ 鉛筆の使用を心がけましょう。

(2) 昼食, 飲み物, 時計を準備。服装は感染拡大防止の観点及び過ごしやすいもの

☆ マスクを着用せず, 会話することは絶対にやめましょう。

(3) 深江キャンパス利用上の注意事項

① 使用許可された教室等以外の施設には入室しない。

② 休憩スペースやトイレ等においても, 換気, 座席間隔確保, 手洗い, 手指消毒を徹底。

③ 発生したゴミは, すべて持ち帰る。

(4) 共通テスト模試を有効に利用するために

① 「記号で解答するから, なんとかなるだろう」という考えの人は要注意。共通テストは, 「大学に入学を志願する者の高等学校段階における基礎的な学習の達成の程度を判定することを主たる目的」とし, 「大学教育の基礎力となる知識・技能や思考力, 判断力, 表現力等を問う」問題を作成しています。模試の問題作成もこれを前提としています。高得点のためには, 基礎・基本の定着が最重要課題です。

② 自己採点と次への準備 共通テスト模試は自己採点できます。自己採点は, 自分の現状を知るために行います。現状を理解し, 次への準備を行います。問題冊子に解答を控える際, 根拠をもち自信を持って解答したら「◎」, 根拠を示すことはできないが自信のある解答は「○」, 複数候補で悩んだ解答は「△」, とりあえず解答したら「□」のように区別します。どの記号でどれだけ得点できたか確認しましょう。「◎」は「理解正解」, 「○」「△」は「不安正解」, 「□」は「偶然正解」。「不安正解」の問題・分野を「理解正解」にすることが重要です。「偶然正解」は不得意・苦手分野, 改善が必要です。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について, SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。

今回の模試を受験するうえでの注意事項

- ◆ 解答冊子のマークシートは、切り離して構いません。提出時に解答した用紙を紛失しないよう、十分に気をつけましょう。

【国語】 現代文・古文・漢文すべてを解答します(全員が1, 2, 3, 4を解答します)

【社会(地理・歴史, 公民)】 授業で履修している科目の受験が原則です。履修科目以外を受験する場合, 第1志望の大学に対応できるか必ず確認しておきましょう。

1 人文・社会科学類型の人へ

(1) 地理・歴史のB科目を2科目受験します。公民を受験する場合, 第1志望の大学に対応できるか必ず確認しておきましょう。

(2) 第1解答科目と第2解答科目について注意してください。2科目受験の場合でも可否判定に1科目のみを利用する場合, 最初に受験する第1解答科目の得点を利用します。第1解答科目を指定する大学もあります。60分経過段階で第1解答科目のマークシートは回収されます。

2 自然・生命科学類型の人へ

(1) 地理・歴史のB科目を1科目受験します。公民を受験する場合, 第1志望の大学に対応できるか必ず確認しておきましょう。

(2) 60分間で2科目を解答しても, 採点対象は1科目のみです。

【数学】 以下の点を踏まえて受験してください。

1 共通テストにおいて最大限の範囲の数学を選択したとしても, 5年時までにはすべての単元・分野・内容を履修しています。

2 6年時, すべての生徒が週当たり6時間の数学の授業を履修しています。その授業においては, 5年時までには学習した内容の復習を含んでいます。

【理科】 授業で履修している科目の受験が原則です。履修科目以外を受験する場合, 第1志望の大学に対応できるか必ず確認しておきましょう。

文系受験の生徒

- 試験開始60分後に、基礎科目2科目分のマークシートを提出すること。本番も含めて科目毎の時間配分は自由。1科目のみの受験は不可(どの大学も原則2科目受験を求めている)。3科目以上を回答することは妨げないが、提出するのは2科目のみ(その場合、残りの科目は自己採点のみとなる)。
- 履修していない科目を提出することも構わないが、教科担任からのアドバイスを希望するのであれば当該科目を提出すること。(学年教科教員の若杉が一般的なアドバイスをすることは全科目可能である)
- 出題内容は全て4年生までに履修が終わっている。

理系受験の生徒

- 基礎を付さない科目を2科目受験すること。共通テストで1科目しか受験予定がなくても、本校実施模擬試験では2科目受験するものとする。
- 共通テスト本番では次の流れで受験を行う。
 - ① 試験開始前に全科目分の問題冊子および「第一解答科目」のマークシートが配布される。
 - ② 「第一解答科目」の試験開始。問題冊子のどこを開くかについては一切制限がない。どの科目を、何科目でも、自由に解くことができる。
 - ③ 試験開始から60分後に「第一解答科目」の試験時間が終了。全ての筆記用具を置き、問題冊子を伏せた状態で「第一解答科目」のマークシートが回収され、続いて「第二解答科目」のマークシートが配布される。受験生は無言で待機。トイレ等も原則認められない。
 - ④ 「第一解答科目」試験終了から10分後に「第二解答科目」の試験開始。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

『Beyond KUSS, 2022!』の内容について、SNS等webへのアップや無断使用しないようお願いします。

2021年5月20日(木)

- ⑤試験開始から60分後に「第二解答科目」の試験時間が終了。全ての筆記用具を置き、「第二解答科目」のマークシートが回収される。

※私立大学や一部の国公立大学（特に中後期日程）では、理科1科目のみの成績が使用されることがある。その際は、「第一解答科目」の成績が用いられることが多い。つまり、自信のある科目を「第一解答科目」として受験すべきである。

- ・具体的には次のパターンでの受験が考えられるか。

A.前もって自信のある科目を決めておき、その科目を「第一解答科目」として受験し、最初からマークする。何度も何度も見直して、これ以上見直すところが思い当たらず暇になるまで「第二解答科目」の問題は見ない。

[多くの人にはお薦めのパターン。2科目受験の大学しか出願を予定しない場合は深く考えずにこちらかパターンBで。]

B.前もって「第一解答科目」を決めておき、その通りに受験して最初からマークする。ただし、自分で決めておいた回数見直す or 自分で決めておいた時間になったら、「第二解答科目」の解答を先に始めてしまう。

[得意科目と不得意科目に大きな差があり、かつ、得意科目の受験が短時間で終わり、不得意科目も時間をかければ得点できるというケースであれば、考慮の余地はある。具体的に最もあり得るのが「生物」を「第一解答科目」とし、「化学」を「第二解答科目」とするケースか。あるいは、理科は2科目を使用する大学しか受験するつもりがない（国立推薦+前期のみしか出願するつもりがない等）のであれば、時間を使いたい科目を「第二解答科目」に回して、時間を傾斜配分する戦略は十分有り得る。ただし、自己採点した後で「やっぱり第一解答科目をちゃんと見直しておけばよかった」と後悔して、二次試験に向かうべき時期に精神的ダメージを負うような性格であれば、やめておいたほうが無難。]

C.当日冊子を開いて5分程度で問題をざっくり眺め、自信のある解答科目を「第一解答科目」に選択。問題を解き始める。終わったらパターンAもしくはパターンBに。

[2つの科目の点数のゆらぎが大きく、どちらの方が点数が取れるかが当日までわからないが、当日問題を見ればはっきり分かる程度には実力があるという稀な受験生か。例えば「第一解答科目」を採用する難関私大の共通テスト利用入試に出願するようなケースは検討の余地がないではない。ただし、科目名のマークミスという、全てを棒に振るリスクが伴うので、積極的には薦められない。]

D.当日、両科目25分以内に解答・見直しまで終わらせてしまい、自信のある方の解答科目を「第一解答科目」に選択して、「第一解答科目」終了前に最後に一気にマークする。

「第二解答科目」の解答時間は、飽きるまで見直ししたら、2日間の受験でお疲れなので解答時間終了までゆっくり寝る。

[そんな芸当を楽々こなせ、かつ莫大なマークミスリスクをものともしない人なら、無理には止めないのでご自由にどうぞ。]

- ・本校模擬試験では途中で回収時間は設けないが、「第一解答科目」の時間が終了したら、「第一解答科目」のマークシートは一切書き換えてはいけない。

[「第一解答科目」の問題冊子をわざわざ開いて、「あのときこう解答しておけばよかったのに失敗した、もう嫌だ」と試験時間中に無益な後悔をすることは止めはしない]

- ・履修順序の関係で一部未履修の分野がある。当該分野については解けなくても気にする必要はないので、履修分野で確実に解けるはずであった問題が高い精度で解けていることを目標とすること。

自身の所属する類型と異なる受験パターンでの受験を希望する生徒は、早急に大八木先生に申し出なさい。

【英語】

1 英語(リーディング)と英語(リスニング)の両方を受験します。

以上